

令和 4 年 4 月

社会活動推進課からの連絡とお願い

日頃は、青少年の健全育成につきまして御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、愛知県県民文化局県民生活部社会活動推進課が実施する事業につきまして、本年度も御協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

1 令和 4 年度少年の主張愛知県大会について

令和 3 年度少年の主張愛知県大会の開催につきましては、大変お世話になりました。新型コロナウイルス感染症の影響が続く中での開催となりましたが、参加学校数 262 校、応募者総数 39,517 名という、多数の御参加をいただきました。また、この大会で最優秀賞を受賞した大野未結さん（春日井市立岩成台中学校）は、全国大会にて、努力賞を受賞しました（3 ページ参照）。皆様の格別のお力添えに改めて感謝申し上げます。

令和 4 年度の少年の主張愛知県大会につきましては、別紙開催要領のとおり 8 月 23 日、刈谷市総合文化センター大ホールにて実施いたしますので、作文の募集及び推薦について御協力をお願いします。

学校推薦を実施しない学校に在籍する生徒に対して、個人応募での作文提出を可能にしておりますが、学校推薦 1 名を選出いただきますと、選出されました生徒につきましては、全員に努力賞（県大会出場者は奨励賞）を授与させていただきますので、是非とも御協力をお願いします。

なお、開催要領及び作文募集チラシにつきましては、各県教育事務所及び名古屋市教育委員会を通じて各中学校に 2 月 21 日付けで配布させていただいておりますので、御承知おきください。

2 青少年インターネット適正利用促進事業について

当課では、インターネットを介した犯罪やトラブルから青少年を守るため、保護者や教職員、児童・生徒などを対象に「みんなのネットモラル塾」を開催し、インターネットの危険性やフィルタリングの必要性を周知するとともに、家庭でのルールづくりを支援しています（4 ページの昨年度チラシ参照）。

今年度の講座については、6 月頃に御案内差し上げる予定ですので、PTA の集まりや研修会、児童・生徒への啓発講座として御活用ください。

皆様の御要望に合わせた人数や所要時間で開催させていただきます。子どもたちが安全・安心にインターネットを利用するための一助になればと存じますので、宜しくお願いします。

担 当 青少年グループ

電 話 052-954-6175（ダイヤルイン）

その他の社会活動推進課からの連絡事項

1 「家庭の日」県民運動啓発ポスターの募集について

○要領配布：令和4年6月

○募集期間：令和4年6月～9月

○応募資格：小・中・高・特別支援学校の児童及び生徒

*上記日程で各学校あてに作品募集を行いますので御協力をお願いします。

昨年度は、児童の部 716 校、生徒の部 253 校、応募者数 14,053 名に御参加いただきました。具体的には、啓発ポスター・リーフレットを作成し、県内の教育機関、行政機関等に配布するなど、全県で県民運動を展開しました。

2 青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動について

○強調期間：令和4年7月1日～8月31日（夏期）

令和4年12月20日～令和5年1月10日（冬期）

*有害環境に接することが心配される長期休業期間に合わせて、啓発活動やパトロールを実施します。非行に走らない、被害に遭わないような長期休業中の過ごし方の御指導をお願いします。

3 青少年によい本をすすめる県民運動について

○強調月間：令和4年10月1日～10月31日

*優良図書目録の作成・配布及びはがきによる読書感想文・感想画を募集します。

*読書感想文募集図書を7月上旬に連絡する予定ですので、学校単位での取組をお願いします。

*参加校には愛知県書店商業組合から、図書または図書カードが贈呈されます。

4 各市町村における子ども・若者支援地域協議会について

不登校やひきこもり等、社会生活を円滑に営む上で困難を抱える子ども・若者に対しては、重層的で切れ目のない支援を行うネットワークの整備が必要です。

こうした中、愛知県では、「子ども・若者育成支援推進法」に規定する「子ども・若者支援地域協議会」や「子ども・若者総合相談センター」の市町村における設置促進を図っています。同地域協議会は、構成員として教育関係機関も想定されておりますことから、各地区において開催される、同地域協議会に係る出席依頼等がありましたら、御協力をお願いします（愛知県内の「子ども・若者支援地域協議会」と「子ども・若者総合相談センター」一覧については5ページ参照）。

「人」という字の二画目に

春日井市立岩成台中学校 3年 大野 未結

「医療従事者に感謝」そんな言葉を聞くと、私の心の中にはある人たちの姿が浮かびます。

私の祖父は、私が生まれる前から数えきれないほどの病気と闘ってきました。そんな病弱な祖父を、弱音を吐かずにずっと支え続けてきた祖母は、いつしか私の憧れの存在となっていました。直腸がんになった祖父は、自分で排便することができず、「ストマ」という人工肛門をつけることになりました。だれもが嫌がる「下の世話」を、祖母は文句一つ言わず、ただひたすら行っていました。祖母がストマを換えている時、私は臭い、汚いという気持ちが先に立ち、逃げていました。当時の私は、祖父の現状から目を背けるただの傍観者だったのです。

その後、祖父は認知症になりました。夜中に部屋の電気をつけて祖母を起こす、スムーズに会話が進まない、突然叫ぶ…祖母の疲労は確実にたまっていったはずです。それなのに、私たちの前では笑顔を保ち、絶やさず祖母を助けたいと思いながらも、何をしたらいいのか分からず、おろおろするばかりでした。

そんな時、「おばあちゃんにピアノを聞かせてあげて。」と母は言いました。言われるままに祖母にピアノを弾くと、祖母は今までとは違う、幸せに満ちた笑顔で私の演奏を最後まで聞いてくれました。その日から、祖母のためにピアノを弾くという喜びを感じるようになったのです。

その後、二度目の脳梗塞で倒れた祖父は、入院生活を始めました。祖父に会った時、どう話せばよいか分からず、お見舞いに行くことに戸惑いと抵抗がありました。「行きたくない」そんな言葉が頭をよぎっていたのです。

私は、祖父と少し距離をおいていました。無口で不愛想、そして「怖い」という印象が強かったのです。ところがある時、「未結はいつ来るんだ？」と祖父が言っていたと祖母から聞きました。祖父は私を待っていてくれたのです。私は、祖父から求められているという事に大きな喜びを感じ、お見舞いに行きたいと思うようになりました。

ある日、病室のドアを開けると、祖父がとても

優しい笑顔でこちらを見ていました。チューブやコードに囲まれ、無機質な音に包まれた部屋の中、私たちの顔を見ながら嬉しそうに笑う祖父。それを見たとき、私は全力で祖父の力になりたいと思ったのです。

祖母の手伝いをし、祖父と一緒にリハビリをするようになると、怖かった祖父との距離がだんだんと近づいていきました。

そして祖母が、どんなに辛くても祖父に誠心誠意向き合って介護ができるのは、祖父が稀に発する、「ありがとう。」の言葉に支えられているからなのだと気づいたのです。

そんな祖母の姿が、いま、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、必死に働いている看護師の方々の姿と重なります。

先日、コロナの重症患者を看る看護師の日々を特集する番組を見ました。完全防護し、ガスマスクのようなものをつけて患者と接しなければならない看護師さんが発した、「マスクをつけていると、患者に笑いかけ、安心させることが出来ない。」という一言は、私の心を強く打ちました。想像していた「暑い、苦しい、疲れた。」という言葉ではありませんでした。過酷な状況の中、患者の心を第一に考え、動く。そのようなことがはたして私にできるのでしょうか。

人という字の一画目は「支えられている人」、二画目は「支えている人」なのだそうです。祖母や、コロナと闘う医療従事者の方々は二画目。私はまだ「一画目の人間」です。けれども、私は祖父の介護を通して、支える側の人々の気持ちを学ぶことができました。ただの傍観者ではなく、「なにかしてあげたい」「喜ぶ顔が見たい」と思うようになり、人から求めてもらえるという幸せを知りました。

祖父が亡くなって、今年で三年になります。祖父母に教えてもらった「人のために行動することの大切さ」を胸に、どんな厳しい現実にも心折れることなく立ち向かい、人のために尽くせる「二画目の人間」を目指していきたいと、私は今、心に強く思うのです。

「青少年のネット安全・安心講座 ～みんなのネットモラル塾～」 の御案内

愛知県県民文化局県民生活部社会活動推進課

インターネットを介して、子どもたちが犯罪やトラブルに巻き込まれる事案が後を絶ちません。子どもたちが安全にインターネットを利用するためには、保護者と子どもの双方が、インターネットに潜む危険性やその対策を理解し、インターネットを適切に利用するための家庭でのルールづくりを行うことが大切です。

そこで、愛知県では、講師派遣型の出張講座として、「青少年のネット安全・安心講座 ～みんなのネットモラル塾～」を実施します。どうぞ積極的に御活用ください。



- ・子どもたちが巻き込まれやすいトラブルや、その危険性について理解を深めます。
- ・フィルタリングを設定していても防ぐことができないトラブルを回避するため、子どもたちがSNSを利用する際の基本的な注意点や、家庭でのルールづくりについて啓発します。
- ・パワーポイントを使った講座を主体とし、グループディスカッションやワークショップなどについても、御希望に応じて実施します。
- ・感染症拡大防止のため、オンラインによる講座も可能です。

○ 講座の対象者

保護者、教職員、児童・生徒、その他子どもたちを見守る立場にある大人

○ 講座の実施方法

講座形式 出張講座またはオンライン講座

受講者数 30人程度から御希望の人数まで、可能な範囲で対応します。

受講時間 1～2時間を基本としますが、御希望に応じて柔軟に対応します。

講師 愛知県が委託する事業者が講師を手配します。

（委託事業者：スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社）

会場 学校の教室、講堂、地域の公民館、御家庭など ※申込者様が御準備ください。

受講費用 無料

○ 講座のお申込み

講座専用Webページ <https://www.netmoral-jyuku.jp/apply/>

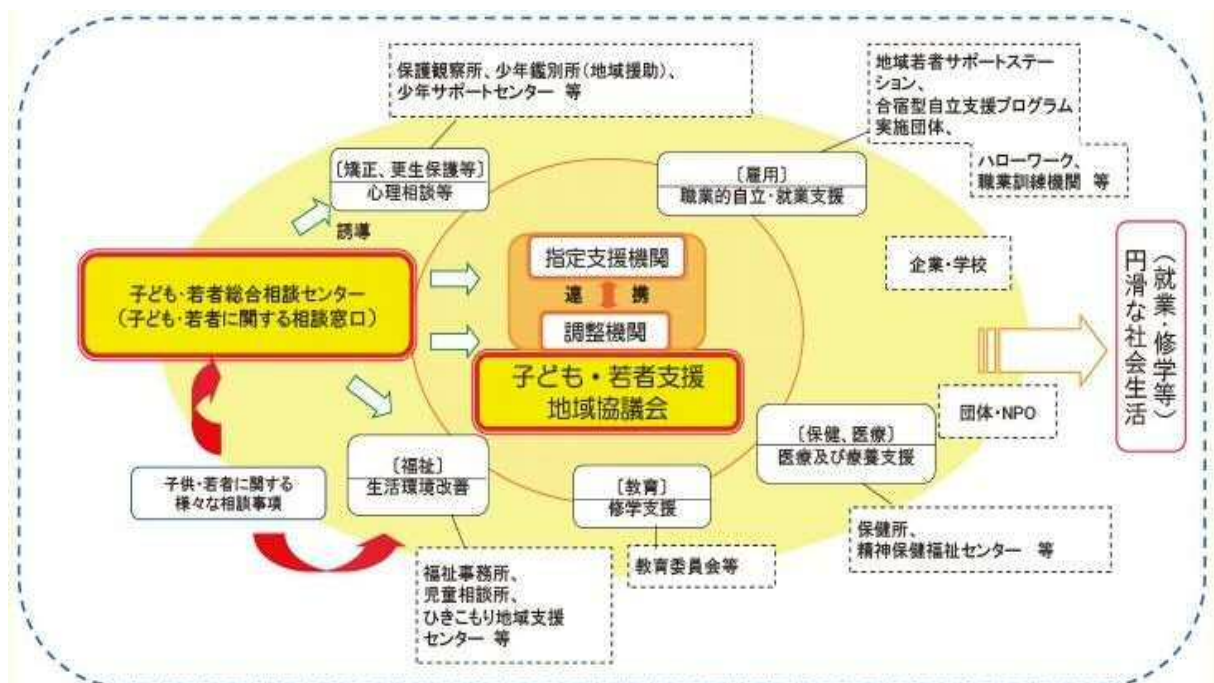
お申し込み期間 2021年5月25日（火）から2022年3月8日（火）まで

■お問合せ先■ 愛知県県民文化局県民生活部 社会活動推進課 電話：052-954-6175

愛知県内の「子ども・若者支援地域協議会」と「子ども・若者総合相談センター」一覧
(2022年4月1日現在)
※地域協議会設置順

子ども・若者支援地域協議会	子ども・若者総合相談センター
豊橋市子ども・若者支援地域協議会	豊橋市こども若者総合相談支援センター「ココエール」
蒲郡市子ども・若者支援ネットワーク協議会	蒲郡市子ども・若者相談窓口（蒲郡市青少年センター内）
春日井市子ども・若者総合支援地域協議会	春日井市子ども・若者総合相談（子ども政策課内）
北名古屋子ども・若者支援地域協議会	北名古屋子ども・若者総合相談窓口（北名古屋青少年センター内）
一宮市子ども・若者支援地域協議会	一宮市青少年センター子ども・若者総合相談窓口（一宮市青少年センター内）
名古屋子ども・若者支援地域協議会	名古屋子ども・若者総合相談センター（名古屋教育館内） 名古屋子ども・若者総合相談センター「金山Branch」
大府市青少年問題協議会（子ども・若者支援部会）	大府市子ども・若者支援相談
田原市子ども・若者支援地域協議会	田原市子ども・若者総合相談窓口（田原市ふるさと教育センター内）
豊川市子ども・若者支援地域協議会	豊川市少年愛護センター（豊川市子育て支援センター内）
豊田市若者支援地域協議会	豊田市若者サポートステーション（豊田市青少年センター内）
知多市若者支援地域協議会	知多市若者支援センター（知多市青少年会館内）
刈谷市子ども・若者支援地域協議会	刈谷市子ども・若者総合相談窓口（刈谷市子ども相談センター内）
あま市・大治町子ども・若者支援地域協議会	あま市子ども・若者相談窓口（あま市甚目寺町公民館内） 子ども応援本部大治町子ども・若者相談窓口（大治町公民館内）
安城市若者支援地域協議会	安城市青少年愛護センター若者相談窓口（安城市青少年の家内）
瀬戸市子ども・若者支援地域協議会	瀬戸市子ども・若者センター（パルティセと市民交流センター内）
西尾市子ども・若者支援地域協議会	西尾市子ども・若者総合相談センター「コンパス」（中央ふれあいセンター内）
岡崎市子ども・若者支援地域協議会	若者サポートセンター（岡崎市若者相談窓口）（岡崎市社会福祉協議会サービスセンター内）

＜参考＞ 地域における子ども・若者育成支援ネットワーク（イメージ）



※社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者に対し、地域の関係機関等が連携して支援するためのネットワーク。
(内閣府資料より抜粋)

令和4年度少年の主張愛知県大会開催要領

1 趣 旨

中学生が、広い視野と柔軟な発想や創造性、物事を論理的に考える力や自らの主張を正しく理解してもらう力などを身に付けるための契機とするとともに、青少年の健全育成に対する一般の理解を深めようとするものである。

2 主 催

愛知県、愛知県青少年育成県民会議、独立行政法人国立青少年教育振興機構

3 共 催

愛知県教育委員会、刈谷市教育委員会

4 後 援

刈谷市、名古屋市教育委員会、愛知県私学協会

5 県大会開催期日

令和4年8月23日(火) 午後0時40分～午後4時

6 会 場

刈谷市総合文化センター アイリス 大ホール

刈谷市若松町2-104 電話 0566-21-7430

7 大会次第

- 12:40 開会式
- 13:00 発表(県内の中学生等の代表14名による意見発表)
- 15:00 アトラクション
- 15:40 表彰式
- 16:00 閉会

8 募集対象

県内の中学校、義務教育学校、特別支援学校中学部及び各種学校(以下「中学校等」という)に在学する中学生及びそれに相応する学籍にあるもの(以下「中学生」という)。

※国籍は問わないが、日本語で発表できること。

9 主張の内容

- (1) 社会や世界に向けての意見、未来への希望や提案など。
- (2) 家庭、学校生活、社会(地域活動)及び身の回りや友達との関わりなど。
- (3) テレビや新聞などで報道されている少年の問題行動、大人や社会のさまざまな出来事に対する意見や感想、提言など。

以上のいずれかをテーマとして、心からの思い、考えたことや感銘を受けたことなどを、自由にユニークに、飾り気のない言葉でまとめたもの。

10 応募手続

- (1) 応募者は、主張の内容を5分程度で発表できるように、A4判400字詰縦書原稿用紙4枚程度(題名、学校名、学年、氏名を含め、4枚半を超えないこと)にまとめる。ワープロ等も可とするが、上記用紙で原稿を作成すること。
- (2) 各中学校等が応募する場合は、中学校等は校内大会等の方法により1点を選考(学校選考)の上、様式1を添えて別添図①のとおり市町村教育委員会、県教育事務所または愛知県県民文化局県民生活部社会活動推進課に提出する。
在籍する中学校等が、作品受付をしていない場合は、中学生が個人で応募することができる。中学生は、作品に様式2を添えて別添図②に示された提出先に、直接郵送または持参にて提出する。

11 中間選考

- (1) 名古屋市以外の市町村教育委員会は、中学校等から提出された作品に様式1を添えて、6月15日(水)までに、県教育事務所(支所・教育指導室を含む)に提出する。
- (2) 東三河総局、新城設楽振興事務所、各県民事務所は、個人応募で提出された作品を取

りまとめ、中学校等ごとに1点ずつ選考し、様式1を添えて、6月15日(水)までに、県教育事務所に提出する。

- (3) 名古屋市教育委員会及び各教育事務所にあっては、提出された作品を選考し、様式3によりとりまとめの上、選考した作品とともに6月23日(木)までに、東三河総局・振興事務所・県民事務所（名古屋市教育委員会にあっては、愛知県県民文化局県民生活部社会活動推進課）に提出する。なお、選考数は次のとおりとする。

提出された作品数（学校代表数）	ブロック審査への選考数
40点(校)以上	14点以内
30点(校)以上40点(校)未満	11点以内
20点(校)以上30点(校)未満	8点以内
10点(校)以上20点(校)未満	5点以内
10点(校)未満	3点以内

ただし、選考数については、各ブロックの実情に応じて変更することができる（応募生徒数1,000人ごとに1点選考できることとし、最大21点まで選考可能とする）。

1.2 審査手続

(1) ブロック審査

次の3ブロックに分けて作文審査を行い、Aブロックについては5点、Bブロックについては5点、Cブロックについては3点を大会発表作品として選考する。

ただし、開催地を管内に含むブロックについては、選考点数をプラス1とする。したがって、令和4年度はBブロックをプラス1の6点とする。

なお、この割り振りは、応募状況に応じて修正できるものとする。

Aブロック（尾張・名古屋地区） 6月29日(水)

Bブロック（西三河地区） 6月30日(木)

Cブロック（東三河地区） 6月28日(火)

(2) 愛知県大会

ブロック審査によって選考された14作品を中学生が発表し、それを審査する。

1.3 選考基準

各中学校等の校内選考から県大会までの選考にあたっての基準は次のとおりとする。

なお、作文審査のみの選考においては、論旨基準のみで選考する。

(1) 論旨基準

ア 鋭い感性で、新鮮な主張であるか。

イ 新しい情報や視点があるか。

ウ 個人の体験にとどまらず、一般性、社会性があるか。

エ 提案や提言を実現、実践する意欲が感じられるか。

オ 論旨が一貫し、構成がしっかりしているか。

(2) 論調・態度

ア 話しぶりに熱意と迫力があるか。

イ 聴衆をよく見て落ち着いて話したか。

ウ 説得力のある話し方で、聴衆に感銘を与えたか。

1.4 表彰

県大会発表者14名全員に奨励賞を、その中から最優秀賞（1名）、優秀賞（4名）を交付する。各中学校等にて学校選考によって選ばれた中学生（県大会発表者以外）に対しては努力賞を交付する。

また、刈谷市立中学校の代表者で構成する「共感！」ジュニア選考委員会が選考する共感賞（1名・他賞との重複可）を交付する。

1.5 その他

- (1) 最優秀賞に選ばれた者は、11月に東京で開催される予定の全国大会出場候補者として、独立行政法人国立青少年教育振興機構理事長に推薦する。

- (2) 県大会に応募した作品の著作権は、愛知県に帰属する。

- (3) 県大会において発表された作品は、文集としてとりまとめて配布する。

<様式1> 学校応募用、各県民事務所等とりまとめ用

ふりがな
学 校 名 _____ 立 _____ 学校

担当者氏名 _____

1 応募状況

1校あたり作文を書いた人数	左 の 内 訳		
	1 学 年	2 学 年	3 学 年
人	人	人	人

2 推薦作文

※ 学校名及び氏名は、大会プログラム及び表彰状にそのまま記載しますので、略称や略字を使用しないで、正確に書いていただくようお願いします。

(1) 題 名

(2) 学 年

(3) 生徒氏名

ふりがな
氏 名

(4) 作文内容 (もっとも該当するもの1つに○をつけてください。)

ア 家 庭 生 活

カ 環 境 問 題

イ 学 校 生 活

キ 遊 び ・ 友 だ ち ・ 旅 行

ウ 地 域 活 動

ク 社 会 や 世 界 へ の 意 見

エ 福 祉

ケ 未 来 へ の 希 望 ・ 提 案

オ 国 際 理 解 ・ 国 際 交 流

コ そ の 他

(_____)

※各中学校等は選考した作品1点に、この<様式1>を添えて提出する。

※各県民事務所等は個人応募で提出された作品をとりまとめ、中学校等ごとに選考した作品1点に、この<様式1>を添えて提出する。

<様式2> 個人応募用（個人応募は、在籍する学校が作品受付をしていない場合に限る）

ふりがな

学 校 名 _____ 立 _____ 学校

1 提出作文

※ 学校名及び氏名は、大会プログラム及び表彰状にそのまま記載しますので、略称や略字を使用しないで、正確に書いていただくようお願いします。

（１）題 名

（２）学 年

（３）生徒氏名

ふりがな

氏 名

（４）作文内容（もっとも該当するもの１つに○をつけてください。）

ア 家 庭 生 活

カ 環 境 問 題

イ 学 校 生 活

キ 遊 び ・ 友 だ ち ・ 旅 行

ウ 地 域 活 動

ク 社 会 や 世 界 へ の 意 見

エ 福 祉

ケ 未 来 へ の 希 望 ・ 提 案

オ 国 際 理 解 ・ 国 際 交 流

コ そ の 他

(_____)

2 連絡先

（１）保護者氏名

（２）住 所

〒

（３）電 話 番 号

※中学生が個人で応募する際、作品にこの<様式2>を添えて提出する。

<様式 3>

愛知県_____教育事務所
(_____ 支所・教育指導室)
名古屋市教育局 委員会

1 応募状況 ※個人応募についても参加中学校等数、参加人数に加える

市 町 村 立	管内中学校等数	参加中学校等数	参 加 人 数	左 の 内 訳	
				1 学年	人
				2 学年	人
				3 学年	人
	校	校	人		
そ の 他	参 加 中 学 校 等 数		参 加 人 数	左 の 内 訳	
				1 学年	人
				2 学年	人
				3 学年	人
		校	人		

2 推薦作文の内容別件数 (様式 1 の 2 (4) の総合計)

ア 家庭生活 [] 点 カ 環境問題 [] 点
 イ 学校生活 [] 点 キ 遊び・友だち・旅行 [] 点
 ウ 地域活動 [] 点 ク 社会や世界への意見 [] 点
 エ 福祉 [] 点 ケ 未来への希望・提案 [] 点
 オ 国際理解・国際交流 [] 点

コ その他 (主なもの)

--

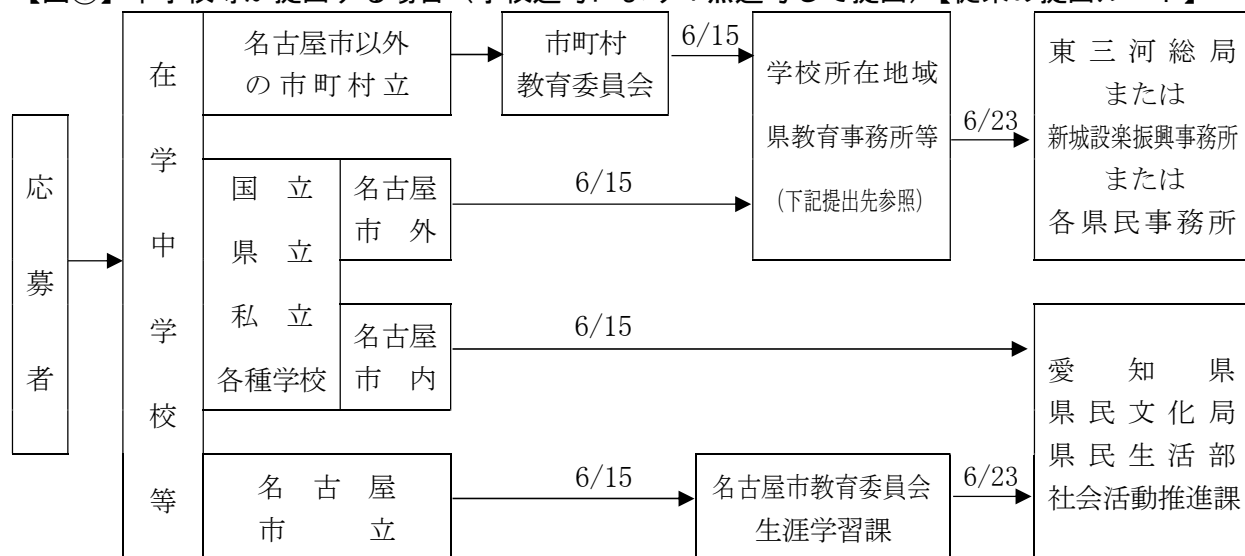
< 参 考 > 過 去 の 開 催 状 況

回 数	参加校数	応募点数	会 場
第 1 回（昭和 5 4 年）	1 1 0 校	3 4 4 点	県産業貿易館
第 2 回（昭和 5 5 年）	9 3 校	2, 7 7 7 点	県中小企業センター
第 3 回（昭和 5 6 年）	1 5 0 校	6, 1 8 9 点	県青少年公園
第 4 回（昭和 5 7 年）	1 3 5 校	8, 7 8 7 点	豊橋市公会堂
第 5 回（昭和 5 8 年）	1 6 8 校	1 4, 6 2 7 点	一宮市民会館
第 6 回（昭和 5 9 年）	2 3 6 校	3 7, 0 1 2 点	豊田市民文化会館
第 7 回（昭和 6 0 年）	2 3 4 校	4 8, 6 9 0 点	愛知文化講堂
第 8 回（昭和 6 1 年）	2 5 3 校	6 3, 3 5 9 点	知多市勤労文化会館
第 9 回（昭和 6 2 年）	2 4 3 校	8 1, 6 1 7 点	岡崎市竜美丘会館
第 1 0 回（昭和 6 3 年）	2 4 3 校	8 0, 6 1 5 点	蟹江中央公民館
第 1 1 回（平成 元 年）	2 6 3 校	8 3, 0 1 2 点	新城文化会館
第 1 2 回（平成 2 年）	2 6 3 校	7 4, 1 8 8 点	春日井市民会館
第 1 3 回（平成 3 年）	2 6 5 校	7 5, 7 4 4 点	足助町公民館
第 1 4 回（平成 4 年）	2 6 4 校	6 8, 3 0 1 点	奥三河総合センター
第 1 5 回（平成 5 年）	2 8 3 校	6 6, 0 8 2 点	県勤労会館
第 1 6 回（平成 6 年）	2 8 8 校	6 6, 0 0 2 点	小坂井町文化会館
第 1 7 回（平成 7 年）	2 9 4 校	6 5, 0 9 5 点	常滑市民文化会館
第 1 8 回（平成 8 年）	2 9 5 校	6 2, 4 4 9 点	刈谷市産業振興センター
第 1 9 回（平成 9 年）	2 8 5 校	6 2, 6 1 7 点	甚目寺町中央公民館
第 2 0 回（平成 1 0 年）	2 7 3 校	5 9, 5 2 2 点	三好町勤労文化会館
第 2 1 回（平成 1 1 年）	2 7 0 校	6 0, 5 7 5 点	江南市民文化会館
第 2 2 回（平成 1 2 年）	2 6 2 校	5 2, 5 4 4 点	新城文化会館
第 2 3 回（平成 1 3 年）	2 6 6 校	4 8, 3 1 3 点	半田市福祉文化会館
第 2 4 回（平成 1 4 年）	2 7 4 校	5 1, 4 6 9 点	蒲郡市民会館
第 2 5 回（平成 1 5 年）	2 5 9 校	4 1, 6 4 9 点	愛知県女性総合センター
第 2 6 回（平成 1 6 年）	2 8 2 校	4 5, 9 2 2 点	知立市文化会館
第 2 7 回（平成 1 7 年）	2 7 7 校	4 9, 7 3 7 点	津島市文化会館
第 2 8 回（平成 1 8 年）	2 7 6 校	4 8, 7 0 7 点	豊田市民文化会館
第 2 9 回（平成 1 9 年）	2 9 2 校	5 1, 7 0 2 点	稲沢市民会館
第 3 0 回（平成 2 0 年）	2 9 2 校	5 1, 6 2 2 点	豊川市文化会館
第 3 1 回（平成 2 1 年）	2 9 1 校	5 6, 2 7 3 点	大府市勤労文化会館
第 3 2 回（平成 2 2 年）	2 9 2 校	5 4, 3 8 6 点	安城市民会館
第 3 3 回（平成 2 3 年）	2 9 8 校	5 4, 1 9 1 点	瀬戸市文化センター
第 3 4 回（平成 2 4 年）	3 0 2 校	5 3, 9 1 4 点	田原文化会館
第 3 5 回（平成 2 5 年）	3 1 2 校	5 4, 9 3 7 点	名古屋市中区役所ホール
第 3 6 回（平成 2 6 年）	3 0 5 校	5 4, 2 5 1 点	西尾市文化会館
第 3 7 回（平成 2 7 年）	3 0 8 校	5 3, 5 5 0 点	一宮市民会館
第 3 8 回（平成 2 8 年）	3 0 7 校	5 3, 0 0 6 点	豊橋市公会堂
第 3 9 回（平成 2 9 年）	3 0 8 校	5 1, 4 7 2 点	愛西市文化会館
第 4 0 回（平成 3 0 年）	3 0 3 校	5 0, 5 7 2 点	碧南市芸術文化ホール
第 4 1 回（令和 元 年）	3 0 0 校	4 7, 4 0 6 点	犬山市民文化会館
第 4 2 回（令和 2 年）	2 1 9 校	3 1, 9 4 0 点	（蒲郡市民会館※）
第 4 3 回（令和 3 年）	2 6 2 校	3 9, 5 1 7 点	東海市芸術劇場

※令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催方法を映像審査に変更

応募作文提出ルート及び締切期日

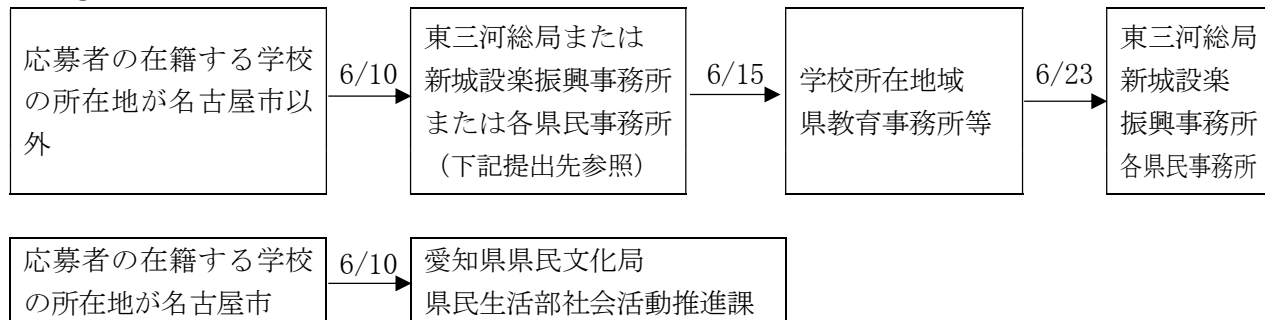
【図①】中学校等が提出する場合（学校選考により1点選考して提出）【従来の提出ルート】



国立、県立、私立、各種学校の作文提出先（※市町村立中学校等の提出先は各市町村教育委員会）

学 校 所 在 地 域	提 出 先
名古屋市	愛知県県民文化局県民生活部社会活動推進課 〒460-8501 名古屋市中区三の丸 3-1-2
一宮市、瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、 小牧市、稲沢市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、 日進市、清須市、北名古屋市、長久手市、 愛知郡、西春日井郡、丹羽郡	尾張教育事務所 〒460-0001 名古屋市中区三の丸 2-6-1
津島市、愛西市、弥富市、あま市、海部郡	海部教育事務所 〒496-8534 津島市西柳原町 1-14
半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、 知多郡	知多教育事務所 〒475-0903 半田市出口町 1-36
岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、 西尾市、知立市、高浜市、みよし市、額田郡	西三河教育事務所 〒444-0860 岡崎市明大寺本町 1-4
豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市	東三河教育事務所 〒440-0806 豊橋市八町通 5-4
新城市	東三河教育事務所新城設楽支所 〒441-1365 新城市石名号 20-1
北設楽郡	東三河教育事務所新城設楽支所設楽教育指導室 〒441-2301 北設楽郡設楽町田口字小貝津 6-2

【図②】個人で提出する場合（中学生が直接郵送又は持参にて提出）



個人で応募する際の作文提出先

学 校 所 在 地 域	提 出 先
名古屋市	愛知県県民文化局県民生活部社会活動推進課 〒460-8501 名古屋市中区三の丸 3-1-2
一宮市、瀬戸市、春日井市、犬山市、江南市、 小牧市、稲沢市、尾張旭市、岩倉市、豊明市、 日進市、清須市、北名古屋市、長久手市、 愛知郡、西春日井郡、丹羽郡	尾張県民事務所総務県民課 〒460-0001 名古屋市中区三の丸 2-6-1
津島市、愛西市、弥富市、 あま市、海部郡	海部県民事務所県民防災安全課 〒496-8534 津島市西柳原町 1-14
半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、 知多郡	知多県民事務所県民防災安全課 〒475-0903 半田市出口町 1-36
岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、 西尾市、知立市、高浜市、みよし市、額田郡	西三河県民事務所総務県民課 〒444-0860 岡崎市明大寺本町 1-4
豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市	東三河総局県民環境部総務県民課相談グループ 〒440-0806 豊橋市八町通 5-4
新城市、北設楽郡	新城設楽振興事務所県民防災安全課 〒441-1365 新城市石名号 20-1